

志タイムで9年生がオンラインで介護施設と交流

コロナ禍で、介護施設での福祉体験は中止、昨年度は「離れていても何が出来るか？」を考え、手作り品や体操やクイズのDVDをお届けしました。今年度は環境が整ったため、オンライン交流を試みました。



まず、施設の職員さんと生徒代表がオンラインで打合せ。中学生が班ごとに考えたことを提案しアドバイスを頂きました。ジェスチャーを大きく、ゆっくり、クイズの回答表現はどうするか？等、細かい所までお話できました。ご利用者さんにどう楽しんで頂くか？班ごとに出し物を考え、工作したり練習したりして当日を迎えました。



1クラスが1施設さんと繋がり、2日間に渡り、生徒全員が、カメラに向かって表現をし、交流をしました。



ジェスチャーや紙芝居方式、画面共有でのクイズを出す班、一緒に体操をする班、歌を歌う班、昔話を引き出す班、それぞれ楽しんで頂くための出し物が繰り広げられ、名前が分かるように、大きな字で書いた名札を首に下げたり、カメラに向かって体操をする子たちと離れて、スピーカーの前で大きな声で話す子、手拍子をする子…工夫が見られました。「絵が上手いね！」などと声を掛けられた子もいました。



★施設より：「ご利用者さんが普段よりノリノリでびっくり」「クイズの内容に反応して起き出す方、元気に話します方もいました！」「貴重な体験、とても楽しくご利用者様も喜んで下さいました。生徒さんの素敵な笑顔を見て職員もワクワクしました」
★生徒より：「緊張したけど、拍手してもらえてうれしかった」「思っていたよりも反応して下さって楽しかった」「zoom は間が難しかった。ヒント出すのが早かったなと反省。次のチームに伝えた」「話せて楽しかった」「クラスもお互い見合って盛り上がった」

お忙しい中、オンライン環境を整え、繋がって下さった施設の皆さま、本当にありがとうございました。